

許 可 申 請 書

(文書番号)

令和 年 月 日

中部地方整備局長 殿

申請者	住 所	岐阜市忠節町 5 - 1
	ふりがな	こくど いちろう
	氏 名	国土 一朗

【押印不要】

別紙のとおり 河川法第 2 4 条 の許可を申請します。

連絡先	電話番号	00-0000-0000
	担 当 者	〇〇課△△係 □□

[記載要領]

1. 申請年月日

- (1) 申請書を提出する日を記載する。
- (2) 申請者が公共団体又は法人等であつて文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記する。

2. 申請者

住所：公共団体又は法人等についても「字〇〇番地」まで記載する。

氏名：(1) 公共団体又は法人等である場合は、その公共団体又は法人の名称及び代表者氏名を記載する。

- (2) 共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記するのが原則であるが、「〇〇〇〇外〇〇名」「代表者〇〇〇〇」と記載してもよい。この場合には、すべての共同申請者の住所及び氏名を記載した書面を添付するとともに委任状も添付する。

3. 連絡先

申請担当者名（申請者と異なる場合のみ）及び電話番号を記載する。

4. その他

- (1) 規則第39条（許可の同時申請）の規定により許可の申請を同時に行うときには、「第〇条」の箇所に根拠条文をすべて記載する。
- (2) 法第95条の規定による国の特例の場合についても様式甲を準用する。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第〇条の許可について同法第95条の規定により協議する。」と記載する。

(土地の占用)

1 河川の名称

一級河川 木曾川水系 ○○川

2 占用の目的及び態様

○○運動場の新設

3 占用の場所

○○県○○郡○○町○番地先

4 占用面積

○○○. ○ m²

5 占用の期間

許可の日から令和 年 月 日まで

[記載要領]

1. 河川の名称

水系名、河川名を記載する。

2. 占用の目的及び態様

運動場、公園等と使用する目的を記載し、更にその使用方法の概要を記載する。

○○の△△

↑ ↑ 新設、変更、存置…など

(例) 公園広場の新設、又は○○の変更、存置…など

3. 場所

住所を記載し、堤唐無番地については「字○○番地先」と記載する。

なお、占用が左右岸にまたがる場合は、左岸右岸に分けて記載する。

4. 占用面積

(1) 単位については平方メートルとし、小数第2位を四捨五入して小数第1位にとどめる。

(2) 占用区域が2県にまたがる場合は、内訳として○○県○○m²、○○県○○m²と記載する。

5. 占用の期間

当該占用の目的、態様を考慮して、必要最小限度の期間を記載する。

(担当出張所窓口にて確認すること)

* 変更許可申請の場合

今回変更しない事項および変更後については黒字で記載し、変更前に関する事項（前許可書内容については、赤字にて併記する。

[添付図書] (施行規則第12条)

1. 事業計画の概要書(任意様式)

(主な内容)

- ・本事業の計画概要及び確実性
- ・土地を占用する場合は、占用しなければならない事情
- ・本申請により付近の住民及び他の事業に影響を及ぼす恐れがある場合はその内容及び対策
- ・本申請箇所において当方より別段の説明があった場合、その内容及びそれに対する考え
- ・その他申請の際に必要と思われる内容

2. 位置図

縮尺は1/2500～1/50000程度とし、申請箇所を○印で表示し「申請箇所」と赤書きする。

3. 実測平面図

- (1) 縮尺は1/250～1/1000程度とする。
- (2) 申請に係る行為によって、当該河川に影響があると判断される区域まで実測したものとする。
- (3) 申請に係る占用区域の平面的な外形、河川区域、河川保全区域及び官民境界線を明示する。＊
河川区域→赤、河川保全区域→青、官民境界線(河川区域と異なる場合)→緑
- (4) 横断面図と照合できるように横断面図の測点を記載する。

4. 面積計算書及び丈量図

- (1) 縮尺は原則として実測平面図と同程度とする。
- (2) 面積計算はm²を単位とし、小数第2位まで計算する。

5. 他行政庁の許認可書の写し

申請に係る行為又は事業に関し、他の行政庁の許可・認可その他の処分を受けることを必要とするときは、その処分を受けていることを示す書面又は受ける見込みがあることを示す書面を添付する。

6. 横断面図及び縦断面図

- (1) 縮尺は1/100～1/200程度とする。
- (2) 占用区域を明示し、河川区域、河川保全区域及び官民境界線を明示すること。

7. 土地の権原に関する図書

- (1) 地方法務局が保存する土地図面(いわゆる公図)の写しに申請に係る場所を示し着色する。
- (2) 河川区域、河川保全区域及び官民境界線を明示する。
＊河川区域→赤、河川保全区域→青、官民境界線(河川区域と異なる場合)→緑

8. 申請に係る現場の現況写真

申請箇所と河川区域(堤防法面等)を入れて撮影したもの
(できれば河川区域を明示してください)

9. 前回許可書の写し

変更・更新(継続)許可申請の場合に添付する。
紛失等により添付できない場合は、その旨事業計画の概要書に記載すること。

＊変更許可申請の場合

添付図書は、変更に関する事項がわかる図書のみを添付すれば足りるが変更の趣旨及び理由を記載した書面ならびにこの許可に係る前許可書の写を申請書に添付しなければならない。